

II 主催事業

〔5-②〕「第2回 ハンターから逃げ切れ！ サバイバルおにごっこ」



1. ねらい

- (1) 自然の中で運動する楽しさを味わう。
- (2) 自然の中での活動を通して自然に親しむ心を育てる。
- (3) 活動を通して家族や友達とのつながりを深める。

2. 実施日

9月13日(日)

3. 対象者

2人～3人のグループ

(小学校3～6年生の児童を含む家族や友達)

4. 募集定員／応募人数／参加人数

16組／34組(93人)／14組(34人)
(キャンセル6名)

5. 「第2回 ハンターから逃げ切れ！

サバイバルおにごっこ」のスケジュール

| | |
|-------|-------------------|
| 9:30 | 受付 |
| 10:00 | 開会式(プレイホール) |
| 10:30 | 施設案内・自然観察 |
| 11:30 | 休憩・昼食(ガーデン広場) |
| 12:20 | ルールの説明 |
| 12:50 | おにごっこ(第I部) |
| 13:50 | 休憩 |
| 14:10 | おにごっこ(第II部) |
| 15:10 | 休憩・成績発表 |
| 15:15 | 閉会式、アンケート(ガーデン広場) |
| 15:30 | 解散 |

開会式と施設案内・自然観察

前日夜から降り続く雨と雷のため開催も危ぶまれたが、何とか天候も回復し予定通り行うことができました。また今回も新型コロナウイルス感染防止対策のため募集人数を減らし、当日は14組34名の参加となった。開会式では準備運動を兼ねたアイスブレイクも身体接触を伴わないものとした。引き続き逃走範囲やルール確認するため施設内を巡り、復活ミッションに関わる植物の名称と特徴などを伝えた。参加者からは「よく分かった」「勉強になった」と



いう声が聞かれた。

おにごっこ(第I部)

前回と同じく密を避けるためスタート場所をメイン広場とし、はやまの鐘の合図でスタートした。1つ目のミッションは赤・青チーム別の協力戦、「ストラックアウトの的9枚すべてを落とせ！」というもの。1班5回ずつのチャレンジであったが、今回も、なかなか的に当たらずにクリアはならなかったため、2体のハンターが追加された。



2つ目のミッションは「竹筒に隠された金や銀の松ぼっくりを探し出せ！」というもの。このミッションは逃走者の活躍により見事クリア。追加ハンター2体とも放出を阻止することができた。第I部は14組中2班だけが一度も捕まらず50分の逃走を成功させた。

おにごっこ(第II部)

休憩をはさんで、おにごっこ第II部。1つ目のミッションはサバおに恒例の「丸太切り」。逃走者は今回もヒノキの丸太に悪戦苦闘！班で協力して何とかハンター放出を1体阻止することができた。



2つ目のミッションは「吐山にある2つの鐘を同時に鳴らせ！」というもの。赤・青チームの協力が必要である。2度鳴らすことに成功し1体のハンターを阻止することができ、逃走者も見学者も大喜びであった。50分の逃走を成功させたのは4組であった。



復活ミッション

施設案内時に紹介した「植物に関するクイズ」(植物の写真と名前を一致させる)と、「転がした松ぼっくりを竹箸でキャッチできれば復活」というものを行い、ほぼ全員復活することができた。



6. まとめ

閉会式では、I部・II部共に逃げ切った班の健闘を参加者全員で称えた。アンケートには「とても楽しかった」「また参加したい」「ハンターの迫力がすごい」という声が多く聞かれた。今回、新たなミッションやアイテムを導入したのだが、事前の想定が不十分なこともあり、逃走者を混乱させてしまった。そのようなことが今後ないように、しっかりと事前検討をしていかなければならないと感じた。参加者に安全で楽しく参加してもらい、またセンターの魅力を発信していけるように創意工夫をしていきたい。